

2022 年度 個人研究実績・成果報告書

2023 年 4 月 24 日

所属	国際教養学部	職名	准教授	氏名	施 敏
研究課題	ポストコロナ、日中観光業界における戦略比較に関する考察				
研究キーワード	観光立国、転換期、戦略、 オンライン相談、国際会議 部、思い出作り、連携	当年度計画に対す る達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を 達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連する SDGs項目	16. 平和と公正をすべ ての人に	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>《観光立国推進基本法》によると、『観光は、国際平和と国民生活の安定を象徴するものであって、国際相互理解を増進するものである。』『観光立国を実現することは二十一世紀の我が国経済社会の発展のために不可欠な重要課題である。』新型コロナウイルス収束後、2030年までに6,000万訪日外国人観光客を誘致する目標は再び掲げられる。このインバウンド市場を左右していた中国人観光客（2019年訪日数959万人）には観光業界は新しい戦略を作り出すことによって、『観光再生』が実現可能に近づく。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症によって、旅行業界は大きな転換期を迎えた。海外観光も、国内旅行も見込めない中、日本最大手JTBの戦略的な動きは国内旅行に焦点を当てていた。2020年5月から、航空機利用のオンライン販売商品『JTBダイナミックパッケージMYSTYLE』を発売し、注目された後は、『JTB国内旅行商品は全体の8割をダイナミックパッケージが占めるようになる』と推測された。一方、コロナ時期、感染防止の観点から導入した施策『オンライン相談』は、今も、効率的に力を発揮している。今後、海外旅行も回復し、ウェディングコンサルタントなどの専門知識や資格を持つスタッフも活躍できると期待されている。</p> <p>中国では、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、国内や国外への移動は長く停止していたため、観光業界への影響は日本以上に大きかった。上海市民20人のインタビュー調査によると、コロナ時期、上海市から離れたのは0で、現時点でも、様子見の考えを持つ人は半分いた。ただし、海外に行ける条件が揃ったら、日本に行きたい人は7割で、日本の人気はコロナ前よりも高くなったようで、その理由は“近くて安全の国だ”と言われた。上海最大手錦江国際グループに所属している錦江旅行社は海外旅行業務の規模が大きいことで有名だが、新型コロナウイルス感染症の影響で、国際会議部などを閉め、業務内容を縮小し、元従業員も解散された。一方、錦江国際グループもネットワークでの業務が拡大し、『J-GO』でのネット販売商品にも海外商品メニューが増えた。海外に行けなくても、ほしい商品が手に入れることができるようになったが、現地での異文化体験や思い出作りは実物の商品を通して、満足できず、より商品の産地に行きたくなる現象が起きている。コロナ後の海外旅行商品の開発はまだ公開されていないようだが、本国の人が多く宿泊されているホテルには、国内交通情報や国内観光スポットを紹介するガイド案内のロビーコーナーが設置され、目立っている。今後は今まで溜まっている資金や気持ちは海外旅行に繋がると推測できる。</p> <p>旅行者の多様なニーズに合わせて、多彩な組み合わせした企画で、それぞれの目的を叶えるために、今後JTBも上海錦江国際グループもデジタルを最大な手段として、使われていくはず。日本JTBと上海錦江国際グループは連携企画を生み出せば、日中両国の観光者にとって、より素晴らしい思い出が作れる旅に出会う未来が見える。</p>					

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）
なし
3. 主な経費
パソコン、書籍、文房具
4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）
なし

(本文は2ページ以内にまとめること)